

令和5年度 市民生活部長「政策宣言」中間報告

市民生活部長 長谷川 寛和

○ 令和5年度重要事業

事業名	多様な人材が活躍できる環境づくりと都市間交流の推進
目標	<p>性別や国籍に関わらず、だれもが個性や能力を発揮し自分らしく暮らすことのできるダイバーシティ社会を実現するため、引き続き、女性リーダーの育成やネットワークづくりを推進するほか、互いの文化や価値観の相互理解を深め、多文化共生の地域づくりに取り組みます。</p> <p>また、台北市土林区をはじめとした友好・姉妹都市と、幅広い分野での交流促進を図ります。</p>
進捗状況	<p>昨年度に引き続き「いみずキャリアステップ応援塾」を開講し、12月まで5回のワークショップを行います。また、今年度新たに女性の地域活動における参加を後押しする「女性活躍推進セミナー」を8月に、外国人住民との相互理解を進める「多文化共生のまちづくり交流会」を7月に開催しました。</p> <p>9月には台北市土林区を訪問し、来年度の友好提携5周年記念式典開催に向けた意見交換や本市の魅力PRなどを行い、今後の幅広い交流の展開について確認しました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、女性活躍や多文化共生の推進など、性別や国籍にかかわらず、市民の誰もがいきいきと活躍できる環境づくりに努めます。</p>

事業名	地球温暖化対策地方公共団体実行計画の策定
目標	<p>本市のカーボンニュートラル実現に向け、市民、事業者、行政が総合的かつ計画的に取り組む具体的な施策について検討し、本市の温室効果ガス排出量の削減に向けた計画を作成します。</p>
進捗状況	<p>市民や事業者を対象とした地球温暖化に関するアンケート調査を実施したほか、学識経験者、関係事業者及び市民の代表者等で構成する射水市地球温暖化対策実行計画策定検討会を設置しました。9月には第1回検討会を開催し、計画の基本方針、施策・取組、取組指標について協議しました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、策定検討会において協議を重ね、本市の特性や課題を踏まえた施策を盛り込んだ計画の策定に向けて取り組めます。</p>

事業名	持続可能で利用しやすい公共交通の推進
目標	射水市DXビジョンに掲げた、AIを活用したオンデマンドバスの導入に向けた実証運行に取り組んでまいります。 また、引き続き、高齢者等の近距離移動手段確保の取組に対し支援するとともに、越中大門駅のバリアフリー化に取り組むなど、持続可能で利用しやすい公共交通の推進に努めます。
進捗状況	現在、AIオンデマンドバス（のるーと射水）の実証運行を行っており、今後の本格運行に向けて、事業の効果、検証を進めていきます。 また、越中大門駅のバリアフリー化については、実施主体であるあいの風とやま鉄道（株）と連携し、詳細設計に取り組んでいます。
今後の対応	高齢者等の近距離移動の取組に対する本市の支援制度を一層啓発するとともに、AIオンデマンドバス（のるーと射水）の周知、啓発に努めるなど、引き続き、持続可能で利用しやすい公共交通の推進に向け取り組みます。

事業名	スマート窓口の推進
目標	市役所窓口の手続時に届出・申請書類を一括して作成できる「窓口支援システム」（書かない窓口）を本庁舎に導入し、来庁者及び職員の負担の軽減、所要時間の短縮を図り、市民の利便性向上に努めます。
進捗状況	窓口支援システムの構築事業者を公募型プロポーザル方式により選定し、現在、検討を重ねながらシステムを構築しています。
今後の対応	令和6年2月中の運用開始に向けて、システムの構築を進めます。